

群馬大学医学部附属病院



群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

群大病院令和3年度 新体制スタート

群馬大学医学部附属病院 病院長 齋藤 繁



新年度開始にあたって

4月1日付で田村遵一前病院長を引き継ぎ、群馬大学医学部附属病院の病院長を拝命致しました。これまで麻酔科蘇生科の科長、集中治療部の部長として、重症なご病気をお持ちの患者さんの診療を担当してまいりました。新年度からは、群大病院の活動全般に関して、地域住民の皆様方のご意見、ご要望を伺いながら、診療ならびに疾病予防の諸活動に取り組んでまいります。

さて、群大病院は医療安全の確保や患者参加型医療の推進に精力的に取り組んでいます。そうした観点から、地域の行政や患者さんの各団体、医師会との連携は欠かせません。群馬県の医療関係者全体が連携を密にして医療安全確保と診療の利便性を両立させていくことが重要だと考えています。また、大学病院は教育機関でもあります。医学部学生だけでなく、看護師・薬剤師などの卒後教育でも積極的に役割を担い、「医療スタッフ少数県」の早期解消に向け、学生、研修者への魅力を高めてまいります。

頼られる群大病院を目指して

大学病院に求められるのは、治療の難しい稀少疾患や重症例に対して高度な医療を確実に実施できることです。通常診療を担当する医師や医療スタッフがそのまま重症例に十分に対応できるわけではないので、大

学病院の指導的スタッフ

を一層パワーアップし、非常時こそ頼りになる大学病院と評されるよう努めてまいります。

そして、「明るく元気な病院」の雰囲気づくりが非常に重要だと考えています。スタッフ間はもちろんのこと、病院をさまざまな目的で利用される患者さんやご家族が、いつでも気軽に言葉を交わせる雰囲気を醸成してまいります。診療チームの実力を最大限に発揮するためには、個々のメンバーが生き生きと活力に満ちて業務にあたれることが大切です。地域の方々のご支援により特定機能病院復帰が完了したことを機に、従前以上に発展する機運を盛り上げることが、現在の群馬大学医学部附属病院運営に求められていると考えています。皆様の更なるご支援をよろしくお願い致します。



も く じ

- 群大病院令和3年度新体制スタート 1 ページ
- ガンゲノム外来の開始について 2 ページ
- 患者支援センターからのお知らせ 3 ページ
 - ・ご挨拶(患者支援センター長 鈴木和浩)
 - ・第11回 地域医療連携施設交流会の開催報告
 - ・群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告
- 病院探検! 「スキルラボセンター」 4 ページ
- フリーラウンジさくら 7月1日OPENしました!! 4 ページ
- 工事のお知らせ 4 ページ



がんゲノム外来の開始について

群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター長 塚本 憲史

2021年4月1日付で当院はがんゲノム医療連携病院に指定され、6月末から「がんゲノム外来」を始めました。

細胞の核の中には「染色体」が入っています。染色体を構成する重要な成分は遺伝情報を伝える「DNA」で、DNAの中にはタンパク質を作る設計図である「遺伝子」が存在しています（図1）。がんはこの遺伝子に傷がつくこと（「遺伝子変異」）により起こります。

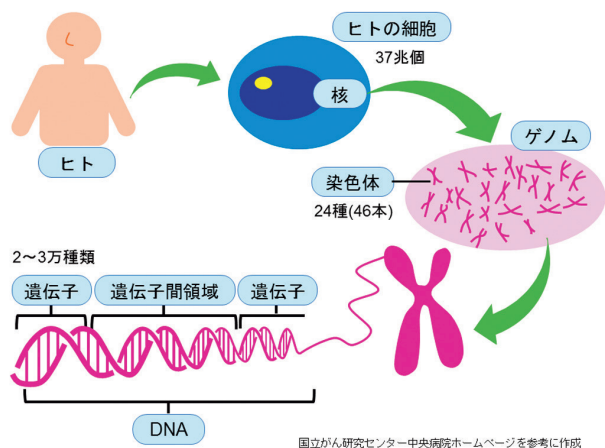


図1. 細胞の染色体中のDNAにはタンパク質を作る設計図「遺伝子」が存在しています。

従来のがん治療は、がんの発生部位（肺、胃、大腸など）とがん組織のタイプ（組織型）に基づいて行われてきました。近年、特定の遺伝子変異を標的とした「分子標的薬」が効果を上げています（図2）。がんゲノム医療は、がん組織の遺伝子を一度に100以上調べることができる「がん遺伝子パネル検査」を行い、効果の高い最適の治療薬を見つけるものです。

手術、生検で得られたがん組織から検査用の標本

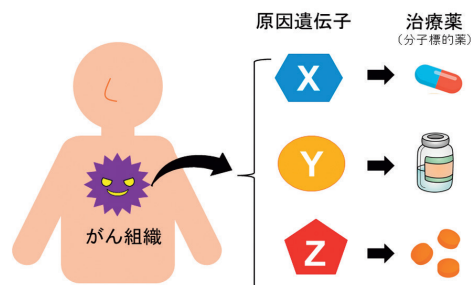


図2. 同じ部位のがんでも、原因遺伝子が違うと使用する分子標的薬が異なります。

を作製し、検査会社で遺伝子パネル検査を行います。解析データを専門家で構成するエキスパートパネルで検討し、検査結果、効果が期待できる治療法について患者さんにお話します（図3）。外来受診から結果説明まで約1か月です。がん遺伝子パネル検査の結果、遺伝子変異があっても使用できる薬がない場合もあり、薬剤使用に結びつくのは約10%といわれています。

がん遺伝子パネル検査ができるのは厚生労働省が指定した医療機関（がんゲノム医療中核病院、がんゲノム医療拠点病院、がんゲノム医療連携病院）に限られ、群馬県では群馬県立がんセンターと当院の2施設です。また、がん遺伝子パネル検査は誰もが受けられる訳ではなく、①標準治療がない固形がん、②局所進行もしくは転移があり、標準治療が終了した（終了見込みを含む）固形がんの症例で、抗がん薬治療が可能な全身状態が良い方が対象です。

がんゲノム医療はがんの遺伝情報に基づいた治療を行う「個別化治療」です。治療法がなくなった方でも、新たな治療法が見つかる可能性があります。がんゲノム外来は完全予約制で、月曜日、火曜日の午後に開設していますが、開設間もないため、院内症例に限らせていただいております。



図3. がんゲノム医療の流れ。初回受診から結果説明まで約1か月かかります。

患者支援センターからのお知らせ

ご挨拶

患者支援センター長 鈴木 和浩



令和3年4月より、村上正巳先生の後任として患者支援センター長を勤めさせていただくことになりました鈴木和浩と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。患者支援センターは地域連携、患者相談窓口、入退院センター、退院調整、がん相談支援センター、難病相談支援センター、セカンドオピニオン外来の7部門から構成され、副センター長を中里先生ならびに佐藤看護師長が勤め、薬剤師1名、ソーシャルワーカー8名、臨床心理士1名、看護師20名、事務6名からなる大きな組織です。チームワークよくそれぞれの部門が業務を遂行できるように力を尽くしていきたいと思います。今年度、外来患者さんの受診環境をさらに改善していくためのFAX予約の推進や予約時間の見直し、歯科施設の地域連携施設への登録、対応する指定難病の整理などを行ってまいります。センターでは、がん相談を積極的に受けて来ましたが、当院は4月からがんゲノム医療連携病院に認定されましたので、さらにニーズが増すと思われます。様々な段階での相談に対応できるようさらに進めていきたいと思います。患者支援センターの職員一丸となって活動していきますので、ご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

第11回 地域医療連携施設交流会の開催報告

令和3年7月8日(木)に、群馬県医師会ならびに郡市医師会の先生方や地域医療連携登録施設の皆様をお招きし、第11回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会を開催いたしました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、群大病院臨床大講堂及びZoomミーティングによるハイブリッド形式での開催となりましたが、計189名と多くの方々に



ご参加いただき、盛況のうちに会を終えることができました。お忙しい中ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。

群大病院は、地域に根ざした病院として、今後も地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、群馬県の医療に貢献していく所存です。皆様の変わらぬご指導とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。



群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告

群馬県のがん対策推進を目指し、例年、群馬会館で開催しております「群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座」につきまして、今年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、当院ホームページにおいてオンデマンド配信いたしました。今回は「妊孕（にんよう）性（せい）」をテーマに、群馬大学大学院医学系研究科 産科婦人科学講座教授・岩瀬明先生から「将来子どもを持つことを希望するがん患者さんのために」と題して講演された動画の配信期間は令和3年8月31日をもって終了となりましたが、多くの皆様にご視聴いただき、ありがとうございました。



病院探検！「スキルラボセンター」

シミュレーションで より質の高い安全な医療を

医療現場において様々なスキルを身につけるために、シミュレーショントレーニングはとても重要です。スキルラボセンターには、採血や縫合から救命救急、腹腔鏡手術やロボット手術など、様々なトレーニング



腹腔鏡手術のトレーニングをしています

のためのシミュレータ、機器が設置されています。また、病棟でのより臨場感の高いトレーニングのサポートも行っています。24時間365日、群大病院のスタッフだけでなく学生や群馬県内の医療従事者が無料で使用でき、更なる医療の質の向上、安全の担保に貢献しています。



病棟での急変を想定したトレーニングです

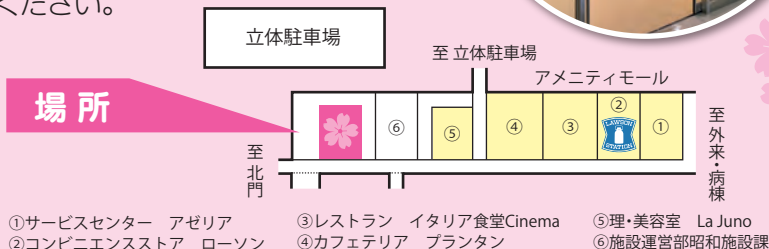
フリーラウンジさくら 7月1日OPENしました!!

利用時間 7:00~21:00

患者さんのご家族等にご利用いただけるくつろぎスペースをご用意しました。ローソン等で購入されたお弁当など、飲食の持ち込みも自由となっています。暖色系ライトの中で静かにゆったりとおくつろぎください。



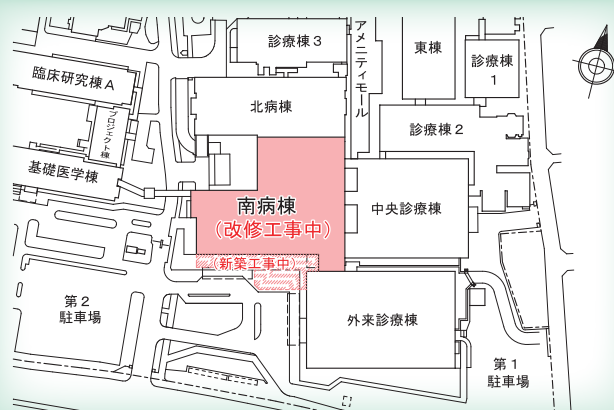
場所



工事のお知らせ

群馬大学医学部附属病院では、現在、南病棟の老朽化に伴う改修工事と外来玄関ロータリー北側で多用途施設の新築工事を行っています。

当院にご来院されている患者さんには、騒音や大型車両の往来等で、ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第11号 2021年9月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2021年9月24日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。